

特集

NPOをまわす運営術その③ 物とサービス編

NPOのミッションを 伝える物やサービス

●ちょっと気になる、いしかわのNPO.

ピースバンクいしかわ設立準備会

●いしかわのNPO

NPO法人 福寿草の郷

NPO法人 金沢アートグミ

●ジュニアVOICE

NPO法人 ワンネススクール

シリーズ

協働をすすめる ワークショップ入門③

『他の人と取り組めるプロジェクトを見つける』

『実施のためのプランを練る』

●書籍紹介コーナー

●インフォメーション

・県からのお知らせ

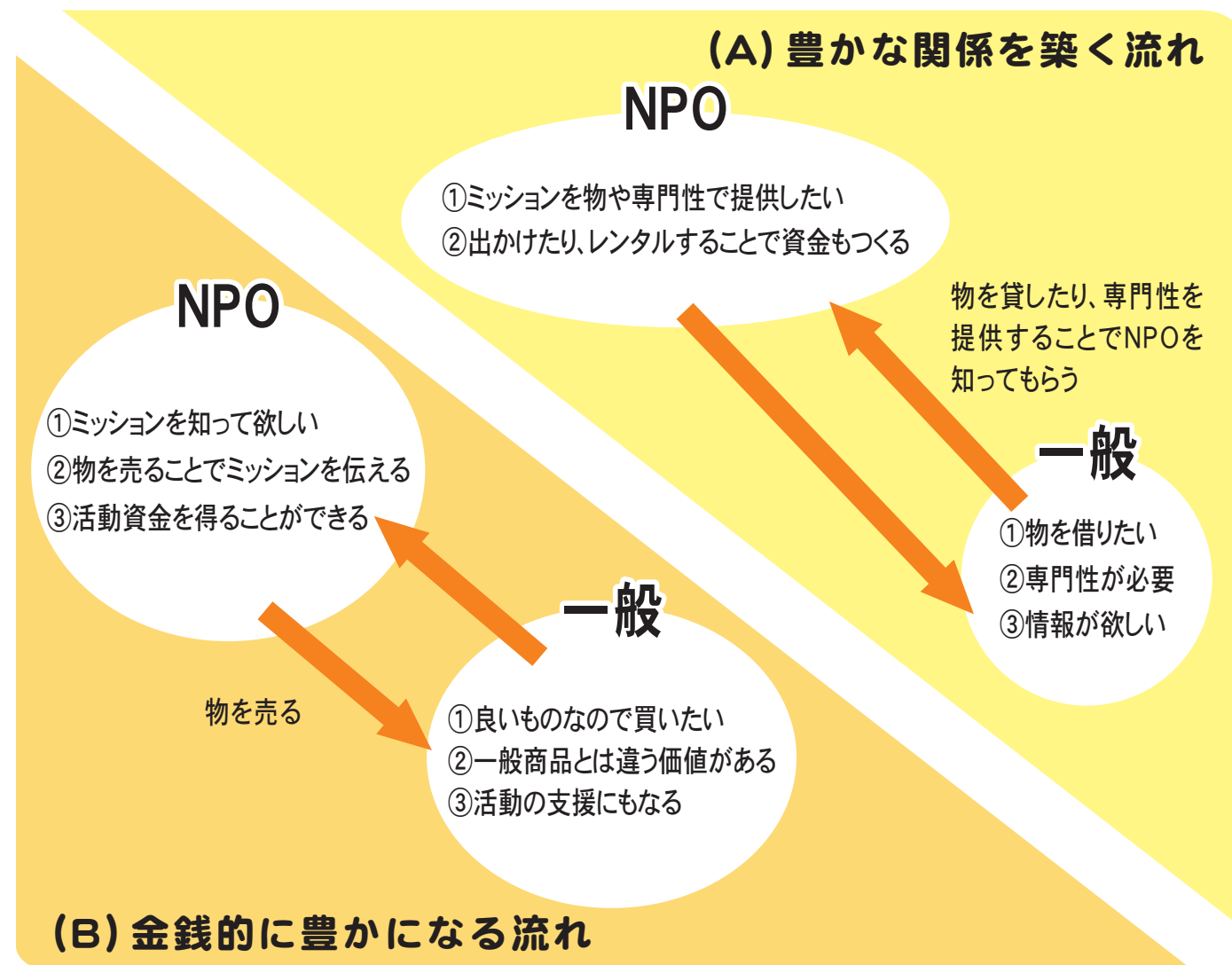
・助成金ニュース

つな
がる、
ひろ
がる、
ふれ
あう。

NPOのミッションを伝える 物やサービス



今回は、NPOをまわす運営術その③「物とサービス編」です。
NPOを運営しているみなさんはNPOのミッション(使命)をどのように伝えていますか？
物を売ることによってNPOの活動をみんなが知るきっかけになったり、NPO同士で物をレンタルすることで情報を交換し合い、豊かな関係を築きます。今回は、物やサービスを通じてNPOのミッションを伝える特集です。よりミッションに近づくためにはどのような商品を開発し、サービスを提供していくべきかについて考えてみましょう。具体的な例を参考に集めてみました。
みなさんも下の(A)と(B)の組み合わせに挑戦してみませんか？



① 物を販売する



NPO法人 ぴあサポート 2010年 ロービジョンカレンダー

視覚に障害のある人たちが自らが生産したユニバーサルデザイン(誰にでも使いやすいデザイン)のカレンダーです。暗いお部屋でもはっきり、くっきり。明るいところには、すっきり。シンプルなデザインで、その場の環境に合わせてお使いいただけます。このユニバーサルデザインのカレンダーが人々の目に止まることにより、社会福祉の啓発へとつながっていくよう願っております。

B3版月巻り12枚綴り
1部…1,000円(税込・送料別)
◆郵送料
1部…250円 2部…350円 3部…400円
5部…500円 10部…650円
※郵送の場合
代金は郵便振り込みでお願いしております。

ご購入・お問い合わせ

NPO法人 ぴあサポート
〒920-0862 石川県金沢市芳斉2丁目15-15 第1奥野ビル405号
TEL: 076-231-6615
FAX: 076-231-6615

川への祈り実行委員会 クレソンケーキ



ビオパークへ材料のクレソンを摘みにGO!



子供たちと一緒に「クレソンケーキづくり」を開催

川への祈り実行委員会では、御祓川浄化実験施設(ビオパーク)でクレソンを栽培しています。このビオパークは、御祓川に入る排水を微生物の力でキレイにしたあと、クレソンが汚れの原因となるリンや窒素を養分として吸い取ってくれます。そのクレソンから作ったクレソンケーキは、いしり亭で好評発売中！1リング売上につき100円が川への祈りFUNDに寄付されて、御祓川の浄化に協力することができます。ビオパークのポンプを動かすお金は、ここから捻出されています。ケーキを食べることで、私たちが普段、食べているものと、その食べ物が作られる環境のつながりに気づきます。「ケーキを食べて、川をきれいに！」みんなにできる、おいしい浄化活動です。

クレソンケーキ: 1200円(税込)
川への祈りファンド協力額
高校生以下: 一口 500円 一般: 一口 1,000円

ご購入・お問い合わせ

川への祈り実行委員会事務局
七尾市生駒町16-4
TEL 0767-54-8866
<http://blog.goo.ne.jp/kawainori/>

② 物をレンタルする



お問い合わせ

金沢エコライフくらぶ
戸室リサイクルプラザ 金沢市戸室新保ハ604
休日(月)・(月)が祝日のときは(火)
開所時間9~5時 電話076-236-1600
Mail aokai@road.ocn.ne.jp

金沢エコライフくらぶ レンタル食器

「レンタル食器」を使ってイベントごみを減らしませんか？「金沢エコライフくらぶ」では軽トラックにシンク・排水浄化水槽・食器などを載せてイベント会場に出前する活動を行っています。集めた食器をより多くの方に使っていただこうと食器のみの貸し出しにも応じています。ホームセンターや業務用スーパーには、安い割り箸や紙皿やコップ類が売られていますが、イベントが終わればごみの山！もし誰から「もったいないね」というつぶやきが漏れたら切り替えるチャンスです。「レンタル食器」を使ってイベントのエコ化にチャレンジしてみませんか。

メラミン製22cm大皿150枚/17cm中皿100枚/18cm深皿100枚/木製12cm汁椀100個/山中塗17cmそば椀100個/大スプーン100本/フォーク100本/塗り箸・拭き漆箸200膳/プラスチックコップ100個/ガラスコップ100個/給食用汁椀200個/保温ポット、給水器、寸胴鍋、水タンクなどを金沢市戸室リサイクルプラザで保管していただいています。洗って戻すこと、車での搬出・搬入が要件です。食器1ケースに付き500円、2ケース以上1000円の管理運営費のご協力をお願いします。



お問い合わせ

NPO法人いしかわ市民活動ネットワークセンター
(略称 i-ねっと)
TEL076-232-6673 FAX076-232-6674
〒920-0865金沢市長町1-3-40
Mail ishikawa@inetsnp.com
URL <http://inetsnp.com>

NPO法人いしかわ市民活動ネットワークセンター(略称i-ねっと) 1時間で目からうろこの『ボランティア入門講座』

スタッフのモチベーションアップに！総会の記念講演会に！沢山の会員やスタッフを抱えている団体からは「気持ちをひとつにする手がかりとなった」「団体の活動スタイルをやっと理解してもらえた」などの声が。

民間非営利活動でなければできない運動理論がここにあります。私たち「i-ねっと」は、ボランティアの創意と工夫による、豊かな市民社会づくりを応援しています。(※その他「運営編」「資金編」等、セミナー内容については、ご相談を承ります。)



お問い合わせ

NPO法人 こまつNPOセンター事務局
TEL 0761-25-1010
Mail komatsu.npocenter@iris.ocn.ne.jp

NPO法人 こまつNPOセンター 防災防犯マップ作りワーク講座

こまつNPOセンターでは、町内会(又は校下)単位レベルでの防災防犯マップの作成をお奨めしています。

一見よく知っていると思いがちな地元町内ですが、調べてみると意外な発見があったりします。町内のみなさんと楽しく町内探検しながら危険個所などをチェックし、集めた情報をもとに当センターが防災防犯マップを作成します。作成したマップは、町内の防災防犯をさらに強化するための便利ツールとして活用したり、町内配布して情報の共有化と防災防犯意識の共有化をめざします。

ちょっと気になる、いしかわのNPO ピースバンクいしかわ設立準備会

Vol.23

『一つの力は小さいけど、みんなの力が集まれば大きくなれる』

北陸初の非営利バンク事業

近年「NPOバンク」「市民ファンド」の設立が全国各地で相次いでいます。北陸で初の試み、「ピースバンクいしかわ設立準備会」。代表の小浦むつみさんにお話を伺いました。

「不景気な世の中だからこそ自分たちが暮らす地域で踏ん張って仕事をする人を応援したいんです。」と話し始める小浦さん。

「銀行にお金を預けるとほっておいても金利で少しずつ増えていきますね。普段気にしないことかもしれませんが、私達が預けたお金を銀行が事業主に貸してその利子を受け取っているのです。ですが、自分の知らないところで自分のお金を、どんな事業主が、どんな使い方をしているのか。ちょっと気になりますか？」

私達「ピースバンク設立準備会」は、2008年9月に血の通った金融機関を市民の手で設立しようとの思いを共有するメンバーが集まり、発足しました。きちんと審査をして、自然エネルギー事業や中山間地の活性化、農業、福祉や子育て、フェアトレード、人づくりなどの事業への融資をしていきたいと思っています。今年はまだ準備段階なので2店舗のみ融資を行っています。



▲月に2度のペースで行われるミーティング風景

もしも「ピースバンクいしかわ設立準備会」にあなたがお金を預けるとします。そこで私達はあなたに融資先のお店を紹介しします。今実験融資中の「高木粧商店」さんは杉樽を使った昔ながらの製法でお味噌を作ってる所なんですけど、スーパーへ買い物に行ってお味噌を見て「あ、高木さんのお味噌がある。」と少し応援したくなると思うんです。そんな高木さんの今の目標は味噌を仕込むための蔵を建てることなんです。

もしも高木さんが無事にお金が増え蔵が建ったら私達は「良かったね」ってなると思うんです。

ですが、意識せずに買い物すると誰が儲かって、そのお金がどんなことに使われるのか分からないんです。だからこそ買い物でも、お金を預けることも気になって欲しいです。私のお金は生きているのかしら？と。



▲高木粧商店さん

ひとりひとりが幸せのかけらを持っている

「ピースバンクいしかわ設立準備会」は2009年4月から2010年3月の期間は実験事業として運営します。その間は融資先は2件のみで、2010年4月に「ピースバンクいしかわ」として正式に設立してから、融資先を増やす予定です。非営利事業なので低金利で融資します。同じく出資者も募集しています。

ピースバンクのピースはパズルのピースという意味が込められています。一人で地域に貢献するというのは難しいことだけど、みんなの力が加われば素晴らしい絵を完成できると思っています。」と小浦さんは熱く語ってくれました。

ピースバンクいしかわ
設立準備会
代表の小浦さん

当会の趣旨や規約、活動内容の詳細についてはウェブサイトにて公開しています。出資・融資についての詳しい情報はこちらを参照ください。



〒921-8815 石川県石川郡野々市本町2-1-24
コミュニティトレード・アル内
TEL/FAX:076-246-0617 E-mail:info@piecebank.net
URL:<http://www.piecebank.net>

NPO法人 福寿草の郷

〒922-0274
石川県加賀市別所町19-8
TEL・FAX 0761-76-1991
http://www16.ocn.ne.jp/~fjs/index.html
e-mail fj_sato@bridge.ocn.ne.jp

活動概要

福寿草の郷は「人は必要とされ生れ、愛し愛される貴重な存在である」という信念のもと、青少年の健全育成を行うほか社会の仕組みに隠れ、法的保障が十分受けられない方にも健やかな暮らしを送っていただけるよう援助してきました。運営する寮や作業所にはニートや障害者、生きる方向性が見つからず思案している方、身寄りのない方などが、障害の有無や年齢の枠を超えて集まり自己に課せられた問題を解決しようと努力しています。仲間とともに時を分かちあい信頼関係を結んでゆくことが、自己の存在感を再認識させ自立更生、生きがいを生み出す原動力になっているように感じています。



▲ イベント風景 (岩魚の塩焼き)

事業内容

寮運営や作業所での下請事業のほか24時間体制で相談にも応じています。年2回春と秋には地域の方たちへの活動の理解と交流を兼ねて、福寿草祭も開催しています。メンバーは協力し合って各種模擬店を開き、毎回一つのことを創り上げた一体感や達成感が感じられる雰囲気あふれるイベントとなっております。私どもは、自然と共存していく中で、人間的成長を図っていきたいとの思いから、農作物栽培や手造りの窯で炭焼きにも取り組んでいます。模索の毎日で、いろんな団体、個人と交流を深めて福祉の充実に努めてまいりたいと思っておりますのでどうか志を同じくする方ご一報ください。



▲ 夏休み自然体験交流会

理事長 高橋 竹夫

NPO法人 金沢アートグミ

TEL 076-225-7780
e-mail info@artgummi.com
http://www.artgummi.com/

活動概要

金沢アートグミは金沢市の「金沢まちづくり市民研究機構」で2006年から3年間に渡りアートによるコミュニケーションの研究を行ってきたメンバーが中心となって生まれたNPO法人です。2009年4月に金沢の北國銀行武蔵ヶ辻支店の3階にギャラリーをオープンし、この場所を拠点に、展覧会、シンポジウム、ワークショップなど、様々なイベントを催しています。またウェブサイトにおいて、北陸地方のアートの「今」がわかるガイドサイトとして情報を発信。金沢を中心に北陸の展覧会、ギャラリーを紹介し、人とアートと街のためのコミュニケーションのきっかけを作ります。

事業内容

北國銀行武蔵ヶ辻支店は、日本を代表する建築家、村野藤吾氏(1891-1984)の現存する数少ない初期の作品であり、正面の舟形のアーチ(トッペアーチ)が美しい建物です。武蔵ヶ辻第四地区市街地再開発事業に伴って全面改装を行い、2009年4月に移転オープンしました。さまざまなものをつなぎ「組み」あわせるもの。お菓子の「グミ」のように色とりどりで不思議な感触を与えるもの。おのおのの立場からアートを真剣に考える人々によって構成される「組」。アートグミにはこのような意味が込められています。

アートグミでは今後、工芸と現代美術の手仕事の比較から金沢における現代美術の方向性を覗き見る、若手アーティストグループ展「手のなかのマイクロコスモス」(1月9日(土)~1月31日(日)10時~18時 水曜定休 入場無料)などの開催を予定しています。「はっ」とするアートの魅力を、金沢アートグミで体験してください。



▲ 展示の様子



▲ 正面の舟形のアーチ(トッペアーチ)の外観



理事長 真鍋 淳朗

新刊・おすすめ図書

紹介



コーナー



新傾聴ボランティアのすすめ
—聴くことでできる社会貢献—

編集：NPO法人ホールファミリーケア協会

発行：三省堂

定価：1,680円

発行年月：2009年8月

いま人気の「傾聴ボランティア」って何?傾聴の意味と意義、傾聴のスキル、傾聴ボランティア活動の仕方、活動上の事例Q&A、傾聴ボランティア体験記などを満載!さあ、あなたも参加しませんか?傾聴ボランティア指導実績全国NO.1のNPO法人ホールファミリーケア協会がお届けする活動の実践の手引き。

すでに市民の立場から、人間らしい暮らしのための公共性をデザインし、市民的な事業を成立させ、責任をもって社会を創造していこうと挑戦する人々がいる。執筆陣はそうした志をもつ人たちとその実践に共感する研究者である。また、この共同研究は、社会や公共性さらには信頼や協同の価値を忘れて近代の教義(競争、能率、合理性、利益など)に固執する経営学に終わりを宣言するものでもある。



NPOと社会的企業の経営学
—新たな公共デザインと社会創造—

著者：馬頭 忠治 藤原 隆信

発行：ミネルヴァ書房

定価：2,940円

発行年月：2009年6月



NPO・市民活動のための
助成金応募ガイド2009

編集：助成財団センター

発行：助成財団センター

定価：2,000円

発行年月：2009年3月

助成金情報が分野別に掲載されています。助成金の申請にご利用下さい。

第1回のワークショップでは参加者同士がお互いを知り合うために、交流しました。
第2回では「一緒に何ができそうかな？」プロジェクト案を考え、第3回ではプロジェクト実施のためのプランを立てます。

<必要な準備物>

- (1) 第1回で使用した用紙1(「自分について」の用紙)
- (2) 用紙3(イラスト参照)
- (3) 用紙4(A5大程度の白い紙。参加者人数の3~4倍あると安心)
- (4) タイマー、鉛筆、名札、メモ用紙など、ワークショップに必要なもの



第2回 ワークショップのすすめかた

すること	所要時間 (経過時間)	内 容	ねらい、備考
① 仲間を見つける	30分 (30分)	前回話せなかった人や、もっと話してみたい人と自由に交流する。 (第1回で記入した用紙を持って)	・目的は交流そのものではなく、「誰と何ができそうかを探る」こと。
② 「こんなことができたらいいな」を言葉にする	15分 (45分)	「こんなことができたらいいな」と感じることを準備・配布された用紙4(A5大程度紙)に各自で書き、提出する。(全体で集める) *1枚に1案。何枚でもOK。無記名可。 例:郷土料理を学びたい、ライブをしたい、など。	
③ 出てきた案を共有し「プロジェクト」をみんなで考える	20分 (65分)	(1)提出された案(紙)を並べ、皆で見る。 (2)皆で意見を出し合いながら、共通点のある案や共同でできそうな案をグループ化していく。 (3)各自取り組みたいプロジェクトを選び、チームづくりをする。	・「これとこれを組み合わせたらもっと面白くなるかも」と自由な発想で考え、提案してみよう。
④ プロジェクトの「案」をプランにする	20分 (85分)	(1)各チームメンバー同士で「私がこのチームに入った理由(動機)」について語る。 (2)各チームで、プロジェクト名と主な枠組み・方向性を決める。	・同じことに取り組むとしても、ひとりひとりの思いはそれぞれ。 用紙3(イラスト参照。企画案記入用紙)を使いながら話し合い、話し合った内容を『見える化』する。
⑤ プロジェクトを全体で共有する	5分 (90分)	各チームから、プロジェクト名と概要を全体に発表する。	他のチームについても共有し、お互いに学ぶ。
⑥ 次回についてのアナウンス	10分 (100分)	次回の予定と持ち物(企画案記入用紙)を伝達。	・メンバー同士での連絡先交換を促す。

第3回 ワークショップのすすめかた

すること	所要時間 (経過時間)	内 容	ねらい、備考
①	5分 (5分)	この回はオリエンテーションのみで開始。	
② プロジェクトについて、チームごとにプランを練る	25分 (30分)	第2回の続き。各チームでプランを詰めていく。	他のチームを参考に自分達のチームプランに改善を加えよう。
	15分 (45分)	中間発表。各チームでまとまりつつあるプランを、全体に向けて発表。コメントや提案を貰う機会にする。	
	15分 (60分)	発表時の他チームからの質問や提案を参考にして、チーム毎に計画を見直したり深めたりする。	可能なら実践後の報告の手法や役割分担についても相談しておこう。
③ プランを完成し抱負を述べる	40分 (100分)	(1)再度各チームよりプランについて全体に発表する。(実施の日程、場所、方法など) (2)チームメンバーは抱負をひとつずつ宣言する。 ※(1)~(2)を全チーム分行う。	抱負(思い)を述べて「宣言」し、やる気を出そう。
④ 次回についてのアナウンス	10分 (110分)	・参加者は次回までにプロジェクトを実施のこと。 ・次回は報告会。報告の準備をして参加してもらうよう伝達。 ・報告会について質問があれば受ける。	
⑤	10分 (120分)	各チームで連絡のとりあい方などを確認したら解散。	

(用紙3)

出会いからはじめる協働体験セミナー コラボン

~プロジェクト計画に着手しよう~

こんなこといいな できたらいいな		具体的な内容	備考
企画名		・どの様に行う	
メンバー			
①			
②			
③			
④			
アイデア			
具体的な内容		備考	
・いつ			
・誰が			
・何を			
・何のために			
・どこで			
		・期待される効果	

INFORMATION

県からのお知らせ

「NPOだるま落としセミナーin金沢」

NPOの立ち上げ、運営に関する基礎知識を習得する「だるま落としセミナー」を開催します。

また、セミナー開催日を除く毎週水曜の夜は、なんでも相談できる「NPOサロン」を開設しています。

●NPOだるま落としセミナー

平成22年 1月23日(土) 15:00～17:00 NPO会計ソフト

・参加無料

・定員20名程度

●NPOサロン

NPOに関する個別相談を行っています。

平成22年3月末まで(毎週水曜日 18:30～21:00)

・相談料 無料

・会場 石川県NPO活動支援センター

金沢市広坂2-1-1広坂庁舎4階

お問い合わせ先

NPO法人いしかわ市民活動ネットワーク
ワーキングセンター(i-ねっと)
〒920-0865 石川県金沢市長町1-3-40
TEL 076-232-6673 FAX 076-232-6674
Email:ishikawa@innetnpo.com



NPOマッチングボードのお知らせ

NPO・ボランティア団体のスタッフやボランティアさんの募集情報を掲載しませんか。

石川県NPO活動支援センターの掲示板及びホームページに掲載することにより、NPO・ボランティア活動などの社会貢献活動への県民の積極的な参加を促進しています。

・詳しくは、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

石川県NPO活動支援センター
担当：長谷川
〒920-8580 金沢市広坂2-1-1
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
URL:http://www.ishikawa-npo.jp/riyou-matchingu.html



助成金ニュース

ボランティアに関する講習会等助成事業

●助成対象事業

下記の要件を満たすボランティアに関する講習会等。

- ・県内のボランティアグループ等が主催するもの。
- ・ボランティア精神の普及や団体等におけるボランティア活動の充実、発展に寄与するもの。
- ・10人以上の参加者が見込まれるもの。
- ・参加者から参加費を徴収しないもの。また、徴収金額が必要最小限と認められるもの。
- ・政治活動や宗教活動を目的としないもの。
- ・不当な参加資格を設けていないもの。

●助成対象経費

講習会等において指導等を行う外部講師(団体の構成員等ではないということです。)の謝金及び交通費

●助成金対象額

講師謝金については原則として石川県の予算単価に準じた額、交通費については実費相当額とし、助成金の総額は5万円以内

●助成金の交付

予算の範囲内で行います。また、同一事業年度内においては、1団体1回限りとします。

●助成金の交付申請

所定の申請書に必要書類を添付し提出します。
※この助成金を受ける際は、必ず事前相談を行うこと
※その他、詳細については下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

(財)石川県県民ボランティアセンター
事務局(担当：湊)
〒920-8580 石川県金沢市広坂2-1-1
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559
URL: http://www.ishikawa-npo.jp/volunteer/index.html

マイクロソフトNPO協働プログラム 2010

●助成対象事業

- 1) インターネットの安心・安全な利用を推進する活動
- 2) ITの新たな可能性を拓ける活動

●助成対象団体

- ・日本国内に拠点をもち、日本国内で活動する非営利団体(法人格の有無、活動年数は不問)
- ・ITの利活用の啓発・促進において、他団体・企業・行政との協働に積極的な団体

●助成額

1件あたり上限300万円、総額2,000万円

●応募受付期間

平成22年2月8日まで

お問い合わせ先

※ お問い合わせ、応募用紙の提出は、電子メールのみに限らせていただいております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
URL: http://www.microsoft.com/japan/citizenship/ca/npo2010/default.msp

アウトドア自然保護基金プログラム

●助成対象事業

コンサベーション・アライアンス・ジャパンは、アウトドアスポーツを対象にビジネスを行っている企業が、その対象である自然を保護するために集まったグループです。ビジネスで得た利益の一部を、自然環境を保護しているグループに活動資金として援助するもので、支援対象は、明確な行動指針があり、自治体や中央政府に対して法律を遵守するよう働きかける、直接行動するグループなどです。

●助成対象額

1件あたり上限50万円

●応募受付期間

常時募集

お問い合わせ先

コンサベーション・アライアンス・ジャパン
アウトドア自然保護基金プログラム係 福永宛
〒359-0021 埼玉県所沢5-12-12(株)アライメント内
TEL 042-944-5855 FAX 042-944-5825
Email:info@ca-j.org
URL:http://www.ca-j.org/index.html

SSFスポーツエイド/ ウォータースポーツエイド助成

●助成対象事業

スポーツ大会やスポーツ教室など、スポーツを普及する活動に対して資金援助や備品配備を行っています。スポーツ好きの子ども達を育て、スポーツを通じた地域づくり・人づくりを目的に、スポーツ団体等が行う全国各地のスポーツ活動をサポートしています。

＜スポーツエイド事業＞

- ・ジュニアきっかけづくり助成(上限30万円)
- ・地域密着、自立支援助成(上限100万円)
- ・スポーツプログラム事業助成(上限200万円)
- ・スポーツ用具・備品配備助成

＜ウォータースポーツエイド＞

- ・ジュニアきっかけづくり助成(上限50万円)
- ・拠点づくり・自立支援助成(上限 大会等200万円、機材等500万円)
- ・スポーツ用具・備品配備助成

●助成対象団体

- ・規約・会則等の取り決めがあり、適切な経理処理ができるスポーツ団体等
- ・普及・安全用具の配備助成は、団体設立後5年以上が経過、年間5事業以上の普及事業を実施して

いる団体

・法人格の有無は問いません。

●応募受付期間

平成22年1月31日まで

お問い合わせ先

笹川スポーツ財団 業務部 スポーツエイドチーム
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16
TEL 03-3580-5854 FAX 03-3580-5968
Email:aid@ssf.or.jp
URL:http://www.ssf.or.jp/



地球環境基金助成金

●助成対象事業

民間団体が行う環境保全に資する活動で、次のいずれかに該当するものです。

- ・国内に主たる事務所を有する民間団体による開発途上地域における環境の保全を図るための活動
- ・海外に主たる事務所を有する民間団体による開発途上地域における環境の保全を図るための活動
- ・国内に主たる事務所を有する民間団体による国内における環境の保全を図るための活動

●助成対象団体

- ・一般社団法人若しくは一般財団法人
- ・特定非営利活動法人
- ・法人格を有していない民間団体で一定の要件を満たすもの

●応募受付期間

平成22年1月25日まで

お問い合わせ先

独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金部地球環境基金課
〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎シオラタワー8階
TEL 044-520-9505 FAX 044-520-2190
Email:c-kikin@erca.go.jp
URL:http://www.erca.go.jp/jfge/subsidy/application/h22_info.html

●本誌に関するご意見、ご要望をお寄せください。
お寄せいただいたご意見等は、制作に生かすほか、本誌に掲載してまいりたいと考えています。

石川県NPO活動支援センター

〒920-0962 金沢市広坂2-1-1
石川県広坂庁舎4階
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559

URL http://www.ishikawa-npo.jp
E-mail npo@pref.ishikawa.lg.jp



石川県内でボランティア活動、NPO活動に参加し、活躍している若者のみなさんを紹介するコーナー『ジュニアVOICE』

第7回目となる今回は、働く意思はあるがなかなか社会に出られない若者の就労支援に関する活動「のんびりしー屋」を行っているNPO法人ワンネススクール理事長の森 要作さんと若者達にお話をうかがいました。

地域との『つながり』になる場所



春夏秋冬、季節の料理を作る



▲たこ焼きを販売する若者達

——「のんびりしー屋」はどのような若者の集まりなのでしょう？

森さん●はい、働きたいけど今一步踏み出せない35歳未満の若者を対象とした就労支援を目的とした集まりです。

——どういう活動をしていますか？

森さん●ここ「ワンネススクール」には学校とお店があります。学校でパソコン実習や資格取得の勉強を行い、お店で若者が小物や食べ物を売って、働いてお金を稼ぐということを学びます。食べ物の仕入れから、仕込み、開店準備と掃除、接客をして、食べ物を調理し、レジを打ち、閉店時はレジ閉めなどを任せています。

他には春から夏にかけて野菜を育てて、お店で安く地域住民の方に売りました。秋は押し寿司を作る名人を呼んで押し寿司作りを学び、仲間と一緒に共同で作り、試食会を行いました。冬は地域住民の方から漬物の作り方を学びました。

色々なことを体験して、挑戦して、失敗して、改善していく、精神的な強さを学んだり。色々な人と出会うことで、社会とのかかわり方や働くことの意味を学んでいくという取り組みをしています。

小物販売
コーナー▶



仲間がいるから強くなれる

——「のんびりしー屋」の若者の皆さんにお聞きます。ここへ来る前と後で変わったことはありますか？
ためになったことなどを教えてください。

Tさん●前と考え方が変わりました。

I 君 ●料理のレパートリーが増えました(笑)

あとは、接客の仕方が変わりました。

U 君 ●人の付き合い方が分かってきた気がします。人見知りが出なくなりました。ここでさまざまな活動をして、地域の人役にたつと嬉しくなっていて、もって役に立ちたいという気持ちになりました。

森さん●最近は青年団などは少なくなっていて、若者と地域のつながりがなくなってきています。

この「のんびりしー屋」は就労支援事業であるので、ここに来ている若者達はいつか就職してここを巣立っていきます。ですが若者達が日々の暮らしの情報交換や地域の人とのかかわりを持てるようにここを巣立っていった若者とも連絡を取り合い、つながりの拠点としていきたいです。

——これからの予定を教えてください。

森さん●いつもはお店でたこ焼きを販売しているのですが、今はたこ焼きをお休みしてもうすぐ押し寿司を販売します。みなさん遊びに来てくださいね。



▲自然とふれあう

NPO法人ワンネススクール
理事長 森 要作さん

【お問い合わせ】

石川県白山市辰巳町75-4

TEL 076-274-7676

FAX 076-274-7676

URL <http://www4.ocn.ne.jp/~onenes>

